

# NEW CROWN 授業実践事例

BOOK 1 LESSON 6 授業例①

N.M. 先生

## 指導計画表

(全9時間)

時間	学習内容・主な活動
1	■とびら プレ活動 ■GET Part 1 文法の導入 語句・表現の導入 本文の導入・理解
2	■GET Part 1 本文の復習 コミュニケーション活動
3	■GET Part 2 文法の導入 語句・表現の導入 本文の導入・理解
4	■GET Part 2 本文の復習 コミュニケーション活動
5	■GET Part 3 文法の導入 語句・表現の導入 本文の導入・理解
6	■GET Part 3 本文の復習 コミュニケーション活動
7	■USE Mini-project 友達の紹介をしよう Listen, Speak
8	■USE Mini-project 友達の紹介をしよう Write
9	■まとめ 文法の要点 確認問題 SOUNDS

## 実践例

### 1. GET Part 1

一般動詞 3 人称単数現在形（肯定文）の理解。人についての簡単な紹介ができる。

#### ◆文法指導のポイント

- ・最初の導入は、like や play などできるだけ平易な動詞を固定し、動詞の変化にのみ集中させる。
- ・文法の説明はあまり長くならないようにする。

#### 1 時間目

##### ◆Warm-up

- ・歌 She Loves You (The Beatles)
- ・プレ活動

##### ◆文法の導入の指導例

《パターン A: Drill のイラストを活用して》

- ①教師の英語による口頭導入
- ②どのような場合に-s や-es がつくのか確認する。
- ③板書し、文字でかたちを確認する。
- ④Drill を行う。

《パターン B: 身の回りのことを表す表現を使って》

- ①クラスの生徒の部活動や他の教師の趣味・特技などを話題にして口頭導入をする。
- ②どのような場合に-s や-es がつくのか確認する。
- ③板書し、文字でかたちを確認する。
- ④Drill を行う。

※留意点： 動詞の語尾の発音の違いに注目させるが、全文を読むとき、動詞にストレスがつかないように注意する。

##### ◆語句の導入・練習

- ・スコットランドやバグパイプは PC や音源を使って視聴覚的にインプットしたい。

##### ◆本文の導入・理解

#### 2 時間目

##### ◆前時の復習

##### ◆語句の導入・練習 (Practice のページ)

##### ◆アクティビティ

- Practice 1 Listen
- Practice 2 Speak

### Practice 3 Write

#### ◆本文の音読・まとめ

- ・3 人称の理解が不足している生徒がいる場合には自分と相手と 3 人称の関係を図で示してやり、再確認の場を設定したい。

#### 《発展》

- ・1 学期に生徒が作成した『自己紹介カード』、あるいは夏休みに課題として作成した『人物紹介カード』（あこがれの人や名人について写真と英文でまとめたもの）を生徒間で配り直し、紹介文を発表する。生徒の作品が登場するので、教室は盛り上がるし、学習のよい動機づけにもなるであろう。ただし、これらの作品は、2 学期に入る前の作品なので He や She を主語にした一般動詞の入った英文はまずない。だからそれらの英文を 3 つほど新しく補充させるなどの工夫が必要になる。
- ・『推理ゲーム』の活用： ある人の部屋の絵を見て、その人の紹介をする活動である。2 年生の学習内容 There is / are... で使うピクチャーカードが利用できる。ただし、動詞が likes, plays, has, practices くらいしか使えないのが難点である。
- ・『1 日の生活』： GET Part 1 の Word Corner の語句を使ってまず自分について一日の日課を英文で書かせる。（時間がなければ宿題として出す。）教師の点検のあと、生徒間で配り直し、He や She を主語にして友達の日課として発表させる。動詞をたくさん使うので語彙の力も伸ばすことができる。
- ・『ミニ家族紹介』： 家族の中から一人選んで、その人について紹介するタスク。イラストつきの 5 文程度で書かせ、スピーチ活動にまで発展させたい。

### 2. GET Part 2

一般動詞 3 人称単数現在形（疑問文、応答文、否定文）の理解。人についてたずねたり、それに答えたりする。

◆文法指導のポイント

- ・既習の Do you like…? の文と今回初出の Does he like …? の違いに気づかせる。

1 時間目

◆前時の復習

◆文法の導入の指導例

- ①適切な場面を設定して Does he / she…? を使った疑問文とその答え方を理解させる。生徒とのやりとりの中で基本文を口頭導入する。
- ②主語の前にどんな語が来たか、動詞には-s や -es がついてたかを確認する。
- ③板書し、文字でかたちを確認する。特に疑問文、否定文のときは動詞が原型になることを徹底させる。

④Drill を行う。

◆語句の導入・練習

◆本文の導入・理解

2 時間目

◆前時の復習

◆語句の導入・練習 (Practice のページ)

◆アクティビティ

Practice 1 Listen  
Practice 2 Speak

- ・教科書の登場人物について Q&A を行う。

Practice 3 Write

◆本文の音読・まとめ

《発展》

- ・『友達のプロフィールを完成しよう』: 友達にインタビューをしてシートの質問項目を日本語で埋め、その結果を英語で発表させる。さらに英文に書いてまとめるタスクである。学校に来ている A L T に生徒 2 人一組でインタビューさせるとさらにエキサイティングな活動になるであろう。
- ・Information Gap を用いたインタビュー。ペアになり、情報の違う 2 種類のカード A, B をそれぞれもらい、相手に質問して答えを記入していく。最後にわかったことを英語でまとめ発表させる。自分が知らない情報は必ず相手を知っているのので課題解決の満足度は高いものがある。しかし、教師は内容の違うカードを 2 種類準備しなければ

ならないので、少し準備に時間がかかるのが難点である。

- ・Who is he / she?クイズ: 言うまでもなく Who am I? の続編であるが、授業の Warm up としてその日のニュースなどで教師が簡単にできる活動である。日頃からできるだけ絵や写真、新聞の切り抜きなどストックしておくとうい。もちろん生徒に出題させるのもグッドでしょう。

3. GET Part 3

Where does…? の文, When does…? の文の理解。

◆文法指導のポイント

- ・前課 L5 GET Part 2 で学んだ Where / When do you …? の文をしっかりと想起させる。

1 時間目

◆前時の復習

- ・Does で始まる疑問文の復習をしておく。

◆文法の導入の指導例

- ①クラスの生徒や他の教師について問答し、基本文を口頭導入する。
- ②語順と答え方はどうだったか確認する。Where や When の後が疑問文の語順になることに注目させる。
- ③板書し、文字でかたちを確認する。
- ④Drill を行う。

◆語句の導入・練習

◆本文の導入・理解

2 時間目

◆前時の復習

◆語句の導入・練習 (Practice のページ)

- ・Word Corner の場所・時間に関する語に加えて指導し、生徒の自己表現の幅をひろげていきたい。

◆アクティビティ

Practice 1 Listen  
Practice 2 Speak  
Practice 3 Write

◆本文の音読・まとめ

《発展》

- ・外国の童話や日本の昔話の登場人物について彼

(彼女)がそれをどこでするのか。いつするのか  
問いの文と答えの文を完成させる。時間があれば  
読み物としてプリントを配布し、ALTに読んでも  
らう。また好きな映画のストーリーを英語で話  
してもらいその後、Q&Aに取り組むのもおもしろ  
いでしょう。

#### 4. USE Mini-project 友達の紹介をしよう

##### 1 時間目

###### ①Listen

###### ②Speak

- ・1で学んだことを参考にしてできるだけ多くの友  
達にインタビューし、結果を表にまとめる。活動  
の前に IDEA BOX の英語を練習し、使えるよう  
にしておく。

##### 2 時間目

###### ③Write

###### ④Write

- ・あらかじめ3で作った文章を参考にして友達の紹  
介文を書く。

###### ⑤Try

- ・インタビューした内容を一覧にまとめ情報をクラ  
ス全体で共有する。

#### 5. まとめ

##### ①文法の要点

- ・動詞の活用変化に注意させる。下位の生徒の中  
には名詞の複数形と混同している者も多い。名詞と  
動詞の違いについて再度確認したい。

##### ②確認問題

##### ③SOUNDS

- ・英語の l と r の発音に慣れさせる。
- ・英語らしいリズムで発音させる。